

都心の中にある
市民の憩いの場

過去と現在、文化が共存する
「水」と「再生」をテーマにした公園

50年ぶりに造成された
環境にやさしい湖公園



ユニークな風景を見られる自然美術館 ソ(西)ソウル湖公園

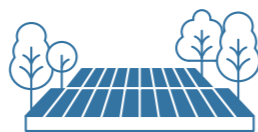
廃浄水場から人々に親しまれる環境にやさしい公園へ

2009年10月にオープンしたソ(西)ソウル湖公園は、ヤンチョン(陽川)区にあった旧シンウォル(新月)浄水場に「水」と「再生」をテーマにして新しく造成された環境にやさしい公園です。1959年にキンポ(金浦)浄水場として造成されて以来、50年ぶりに市民の憩いの場としてリニューアルオープンしました。プチョン(富川)市との境をなすヌンゴルサン(稜骨山)の森やハイキングコースも新たに整えられ、総面積217,946㎡の西南圏最大規模の公園として人気を集めています。



中央湖

シンウォル(新月)浄水場の中心部にソウルではなかなか見られない19,000m規模の湖がありました。この湖を利用して、その周辺に緑地帯を造成しました。



文化デッキ広場

中央湖や音の噴水が鑑賞できるよう造成された文化デッキ広場。利便施設も近くにあるので、ゆったりと休むのに最適な場所です。



音の噴水

中央湖にある「音の噴水」は、公園の上空を飛ぶ飛行機の音を感知して稼動するように造られています。
稼動期間：5-10月 / 10:00 - 18:00



再生公園

旧浄水場の施設を再活用して造られた庭園です。さまざまな種類のスキが育っており、こども遊び場や水が流れる小川などさまざまな見どころや楽しみどころがあります。



モンドリアン庭園

抽象絵画を描いた画家ピエト・モンドリアンの技法を導入した、垂直と水平が調和をなす環境にやさしい庭園。旧浄水場の建物のフレームをそのまま活用して造りました。



メディア壁泉

沈澱地を再活用した水質浄化システムと水道水を利用した水循環システムを導入。水が流れ落ちる滝の水にLEDを組み合わせて映像を上映する空間です。



開かれた野原

「100人の食卓」の裏手にある、広々と開放感を与える野原で、ここには浄水場で使われていた水道管がオブジェとして展示されています。



100人の食卓

最近のリニューアルの際に、原木を活かして造られた1枚板のテーブル。約100人が座れるほどの長いテーブルで、散歩の途中で屋根の日陰に座って休んでいる人の姿がよく見られます。



開かれた広場

中央湖に行く途中にある芝生広場。芝生広場の横に作られたプロムナードは丘のように低いヌンゴルサン(稜骨山)に続いています。